

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう} 放送原稿（２月２２日（金）放送分）

テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。^{か ごしまけんりつあま} 鹿児島県立奄
^{み としよかん} 美図書館です。

今朝は，^{あまみとしよかん} 奄美図書館の新着図書についてご案内します。

まずは，一般書のご案内です。

『^{こしゅう}孤愁 サウダーデ』は，小説家，^{につたじろう} 新田次郎さんの絶筆となった作品です。毎日新聞連載中にお亡くなり，未完のまま３０年の時が過ぎた小説でした。「未完となった父の絶筆を，息子である自分の手で完成させたい」という思いで，新田さんの次男・^{ふじわらまさひこ} 藤原正彦さんが，その続きを執筆し，^{しつびつ} 昨年，^{せいたん} 新田次郎生誕１００周年の記念の年に完成させた作品です。明治時代から大正時代の美しい日本の風景や日本人の誇りを，書物で欧米に紹介したポルトガル人の外交官モラエス。本書は，そのモラエスの生涯を描いた作品です。日本人と結婚し，日本でその生涯を終えたモラエスにとって，故郷への思いはまさしく「^{こしゅう}孤愁」そのものだったのでしょうか。生前，新田さんは「自身の代表作にしたい」という思いで執筆されていたそうです。そして，父の思いを受け継いだ藤原さんは，モラエスのように明治・大正期の日本人の祖国愛や誇りを，私たち現代人に伝えたかったのでしょうか。じっくりお読みいただきたい一冊です。

「働く」ということについて，考えたことはありますか。^{たけのぶ み え こ} 竹信三恵子さんの『しあわせに働ける社会へ』には，働くことの意義だけではなく，労働の現状，対策，未来への希望などが，分かりやすく書かれています。中・高生のために書かれた本ですので，大変読みやすく，理解しやすい内容です。キャリア教育だけではなく，本当の意味での労働教育の必要性が書かれています。気持ちよく働くためにはどうすればいいのでしょうか。また，働くことで得られることとは何なののでしょうか。大人の方々も，もう一度「働く」ということについて考えてみませんか。この本は奄美図書館３階の，ヤングアダルトコーナーでご覧いただけます。

次は，新刊の児童書のご案内です。

^{むくはとしゅう} 椋 鳩 十児童文学賞受賞作家の佐々木ひとみさんの『ドラゴンのなみだ』を紹介しましょう。祖父の住む村へ「^{とりお}鳥追い」という祭りの手伝いにいった^{あゆむ} 歩。歩は，その村でドラ

ゴンのようにおこりっぽい女の子、真琴^{まこと}に出会います。「鳥追い」とは、鳥を追ひ払うほどの豊作^{ほうさく}でありますように・・・と祈願^{きがん}する祭りです。歩と真琴は、一緒に祭りの準備をするのですが、全く気が合わず、苦労が絶えません。しかし、準備を進めるうちに、真琴のおこる理由が分かってきました。そして二人は、少しずつ交流を深めていきます。友だちの大切さが、切ないほどに伝わってくる作品です。ご家族でお読みください。

最後に郷土に関する本のご案内です。

『秀才男子を育てる！ラ・サール学園「寮めしレシピ」』は、日本でも有数の進学校のラ・サール学園の寮の食事を紹介したものです。青少年にとって、バランスのとれた食事がいかに大切かを教えてくれるレシピ集です。バランスの良い献立が健康な体を作り、健康な体が、脳の活性化や精神の安定を生むという当たり前のことを再認識させてくれます。また、寮生に寂しい思いをさせないようにと考えられた、思いやりたっぷりのメニューに脱帽^{だつぼう}してしまいます。成長期の子供さんをお持ちの方々に、ぜひ参考にさせていただきたい一冊です。

あわ
慌ただしい季節です。読書でリフレッシュされてはいかがでしょうか。

かごしまけんりつあまみとしよかん
鹿児島県立奄美図書館でした。